# 第5章。団体ヒアリング調査結果

## / 第5章 団体ヒアリング調査結果

## 5-1. 団体ヒアリング調査の実施概要

目的	特色ある活動をしている団体に対して、ヒアリングを実施することによ
	って、より詳細な活動状況、問題点、課題等を把握する
抽出団体	門真市内で生涯学習活動を行う団体のうち、ヒアリング調査を希望する
	団体
ヒアリング	・団体の活動内容
内容	・団体が活動する上で困っていることや問題点
	・団体では、どのようにして活動の成果を活かしているか
	・今後、市が団体と一緒にできること
	・今後、団体の活動の方向
	・利用している施設等
	・その他、感じていること
ヒアリング	設定された日時に、面談によるヒアリング
方法	
調査期間	平成 24 年 10 月 1 日(月)~平成 24 年 10 月 5 日(金)
調査団体	13 団体

### 5-2. 団体ヒアリング調査のまとめ

#### (1)団体が活動する上で困っていることについて

- ・会員の高齢化を挙げている団体が13団体中8団体あり、会員の高齢化を問題点としてあげる団体が相当ありました。これは団体アンケート調査結果(問4)からも会員の年齢が「60歳以上」で51.0%と約5割を占めていることからもわかります。
- ・新しい人が入らない、若い人が入らないと挙げている団体が2団体あり、団体への入会の問題もあることがわかりました。これは、団体アンケート調査結果(問12)からも団体の抱える問題点として、「新たに加入する会員が少ない」が51.0%と最も高くなっていることからもわかります。
- ・リーダーのなり手がいないなど、指導者の問題を挙げている団体が3団体ありました。 これはアンケート調査結果(問12)からも、団体の抱える問題点として「リーダー や役員のなり手がいない」が16.0%と3番目に多いことからもわかります。
- ・資金不足を挙げている団体が4団体あり、団体運営において資金不足が問題となって います。
- ・駐車場不足、練習場所不足の問題を挙げている団体が4団体ありました。

#### (2)団体活動の成果について

- ・市の文化祭やスポーツフェスティバルへの出演など、市のイベントへの参加が3団体ありました。これは、アンケート調査結果(問15)からも活動の成果を活かすことについて、「活かしてみたい」が61.6%もあることからもわかります。
- ・成果を出したいが出せないでいる団体もあり、成果を発表できる場や機会の確保が課題といえます。

#### (3)市への要望について

- ・団体間の連携が取れていないので、市や団体で一緒になって横のつながりをつくるようにしてほしいとの要望がありました。
- ・市に対しては、「例えば、図書館で子どもたちが学べる文化的活動によって、地域の活性化を図ること」、「施設の予約について、予約が取りにくいことへの対応」、「広報について、見やすくすること」、「団体のイベントについて、紹介などの充実すること」、「団体の要望をもっと聞いて欲しいこと」などの要望がありました。
- ・学校関係では、学校同士の横や縦の繋がりのパイプ機能がほしいとの要望もありました。

以上のことは、団体アンケート調査結果(問 18)からも市と団体が取り組むこととして、「団体紹介の情報収集や発信」「市のイベントなどの企画や準備」「生涯学習施設の運営」などが上位を占めていることからもわかります。

#### (4) 今後の団体の活動について

- ・自然の多い所で子供たちを学ばせたいことから、自然とふれあいを大切にしたいとい う意見がありました。
- ・市のイベントに入り込めるようなイベントをやりたいという意見がありました。

#### (5)その他(活動していること)について

- ・市はもっと他市の施設であっても利用できる施設の事例を紹介して欲しいという要望がありました。
- ・施設予約システムについて、パソコンに使い慣れた人は使いやすいという反面、使っていない人に対してはわかりにくいという意見がありました。
- ・広報「かどま」について、発行が1ヶ月に1回となったので、紙面のスペースの都合で団体がアピールできる機会が少なくなったという意見がありました。